

第3回 御園橋デザイン検討会

会議議事録

【開催概要】

日時：平成21年 3月9日(月)
15時00分～16時30分
場所：上賀茂神社 社務所（勅使殿）

【委員】

家村 浩和（京都大学名誉教授）（座長）、川崎 雅史（京都大学教授）
上賀茂学区，柘野学区，大宮学区，紫竹学区，御園橋801商店街，上賀茂神社

【御園橋のデザイン方針（事務局案）】

- ・ 鴨川の環境や景観に馴染む橋
- ・ 上賀茂神社とともに歴史的な「かいわい」を創出する橋
- ・ 京都というこだわりを持って愛され使われる橋
- ・ 安全だけでなく、ゆとりとアメニティを感じる橋
- ・ 上賀茂神社の入り口の橋として来訪者を温かくおもてなしする橋

【意見の概要】

1 デザイン方針について

- ・ 地域性を出すため「鴨川」の標記は「賀茂川」とし、「上賀茂周辺」という表現を説明書きに入れる。
- ・ 説明書きに川から橋へのアクセスに配慮する旨を追記する。
- ・ 御園橋の整備により兩岸の交流が進むよう、「兩岸をつなぐ」という類のキーワードを追記する。
- ・ 「安全だけでなく」の標記は「安全とともに」に改める。

2 デザイン案について

- ・ 現在の桁の色は、コンクリート橋脚との一体感に配慮したグレー色であるが、北大路橋を参考に若干の色彩を持たせることもよい。
- ・ 電柱類を隠し、上賀茂神社へのゲート性を創出するため、橋詰めに樹木を置いてはどうか。
- ・ 河川敷に入る遊歩道などをあわせて整備できないか。
- ・ 人の流れが滞留しないよう、橋詰めの形状に工夫ができないか。
- ・ 擬宝珠は端部だけではなく、高欄の折れ点にも配置するなど、擬宝珠の位置も考慮したい。
- ・ 擬宝珠の形状は、現代風のアレンジを加えることも考えられる。
- ・ 歩車道境界をすっきり見せるよう工夫するべきである。